

令和6年香美市議会定例会3月定例会議 市長提案説明

本日、議員の皆さまのご出席をいただき、令和6年香美市議会定例会3月定例会議が開かれますことに、厚く御礼申し上げます。

議案の説明に先立ち、最近の香美市の取り組みを例に挙げながら、私の政治姿勢や市政運営についての考え方をご説明をさせていただきます。

NHK連続テレビ小説「あんぱん」が、昨年10月に決まって以来、多くの市民から、ご期待の声や、ご提案を頂いております。大きな反響に対しまして、市としましても、全力で取り組むべく、高知県とも連携して、来年度予算を計上させて頂いていたところです。

私は、この朝ドラ「あんぱん」放送を機に、やなせブームを全国に巻き起こしたいと思っております。やなせ先生の代表作はアンパンマンであることは間違いないのですが、アンパンマンの影響が大きすぎて、やなせ先生の他のお仕事については、忘れられているのではと感じることがあります。やなせ先生が作品に込められた想いや精神は、困難に立ち向かっていく方々を勇気づけ、日本を元気にする力があると信じています。

今回のドラマは、アンパンマンというよりは、愛と勇気の物語として、やなせ先生の生涯に光が当たり、その生き方・人生を通じて、多くの方を勇気づけるドラマになることと思えます。愛と勇気の物語のまち・香美市として、多くの方に、ドラマを見て頂き、香美市を訪れ、そしてやなせ先生の想いに触れて頂けるよう、議員の皆様のお力もお借りしながら、全力で取り組んでまいります。

それでは、市政運営における3つのビジョンに関連して、ご説明いたします。

まず1つ目の「人づくり・人が輝く香美市」についてです。

人生100年時代と言われ、退職後の人生も長くなっております。私は、香美市を探究のまちとして、生涯学び続けながら、人生を輝かせている市民とともに、まちづくりに取り組み、そして探究人たる市民を、今後とも応援していきたいと思っております。

先ほど、やなせ先生の多くのお仕事忘れられているのではないかと、というお話をさせて頂きましたが、先生は、漫画家であり、詩人であり、工業デザイナーでありと、多くのお顔をお持ちでした。

これは、生涯通じて探究の学びを続けられたことの証拠であります。また仕事を通じて、多くの人材をお育てにもなりました。昨年は、やなせ先生とお仕事をされていた方々と、お話をする機会を得ましたが、みなさん、先生から多くのことを学んだとおっしゃられていました。そして想像するに、先生もそういった若い方々から、色々なことを学ばれていたのだと思います。

先生は、「人生 よろこばせごっこ」と仰っています。私は、本日新たに、やなせ先生の探究の生き方をモデルに、香美市は「学び合いごっこ」のまち、と表現したいと思います。

実際に、今月 17 日、山田高校で開催された「よってたかって生涯学習フォーラム」では、まさに「学び合いごっこ」ということで、多くの方々にブース出展して頂きました。

例えば、昨年の香美市ものづくり大賞を受賞された藍里農園&コスメティックスの依光さんは、藍の葉で布が青くなるメカニズムや、毛染めの商品についてご説明くださっていました。定年退職後に商品開発をされたという人生は、まさに探究のまち・香美市を代表する生き方であると思います。

こういったブース出展により、「学び合いごっこ」が実現したことを嬉しく思いますし、香美市の大人や、学校の先生方が、学ぶ楽しさを背中で子供たちに示すような機会を、今後とも企画していきたいと思います。そして、「学び合いごっこ」探究のまち・香美市として、取り組みを深めてまいります。

次に2つ目の「「絆」づくり・多様な人と地域がつながる香美市」についてです。

朝ドラ「あんぱん」の放送をきっかけに、私はやなせブームを全国に巻き起こしたいと思っておりますが、その際に、香美市から情報発信をするだけでなく、やなせ先生とゆかりのある地域でも、ドラマを応援してもらうような取り組みができないかと考えております。

例えば、姉妹都市である福井県あわら市金津小学校には、やなせ先生が贈られた絵が校門から校舎までの道に描かれており、やなせたかしロードとして大事にされています。

また、やなせ先生がキャラクターをデザインした自治体や、漫画家として交流のあった手塚治虫さんの宝塚市、水木しげるさんの境港市などに呼び掛けて、何かドラマを盛り上げることができないか考えているところです。

朝ドラ「あんぱん」を機に、新たな出会い・絆を生み出せればと思っております。

また、3月26日には、姉妹都市・フロリダ州ラーゴ市から20名の方を、香美市にお迎えして、ホームステイが行われることになっております。

日本国内にとどまらず、外国との交流も深め、その絆を、香美市の活力に変えられるよう、取り組んでまいります。

次に3つ目の「「夢」づくり・新しい価値を創造する香美市」についてです。

この夢づくりについては、高知県の政策とも歩調を合わせ、香美市における「デジタル化」「グリーン化」「グローバル化」の3つについて取り組みます。

まずデジタル化についてです。

朝ドラ「あんぱん」の放送により、多くのお客様が香美市を訪れてくれることと思います。しかし大きな課題となっているのが、渋滞の問題です。この渋滞問題については、市民の皆さまの日常生活になるべく支障が出ないように、そして、香美市を訪れるお客様にとっても快適な滞在となるように、アンパンマンミュージアムのチケットを、ネットで予約販売して、来場者を分散させる方法について検討をしております。

現在、高知県立美術館で開催されている「ジブリパークとジブリ展」では、オンラインと店頭で、日時指定券を販売するという方法を取っておりますが、同様のことを、アンパンマンミュージアムにおいてできないかと考えております。

また、渋滞問題の解決に向けて、渋滞シミュレーション委託事業を計上させて頂いております。これは車の流れを高度に分析して、渋滞への効果的な対策を導き出すための委託事業です。色々なパターンに応じて、柔軟な渋滞対策が取れるよう準備をしております。

こういった検討を含め、今後もデジタル技術を使った地域活性化について、取り組んでまいります。

次にグリーン化についてです。

今月10日、県立森林研修センター情報交流館とふらっと中町にて、映画「杜人」の上映会が行われました。

当日は映画監督の前田さん、高知中部森林管理署の吉良署長、同・森下主席森林官もお越しになり、トークショーも行われました。物部川流域の環境を考えるとということで、市民有志が企画したもので、頼もしく思います。

また、子供たちの取り組みでも、一般財団法人グリーンクロスジャパン主催の「みどりの小道・環境日記コンテスト」にて、応募した香美市こどもエコクラブのメンバー6人全員が、入賞しました。特に、香長小6年、浜村仁（じん）君は、3511点の中から最高位の金賞を受賞です。本当に誇らしく思います。

こういった市民や子供たちの活躍を応援し、香美市としても環境にやさしいまちづくりに取り組みます。

次に、グローバル化についてです。

内閣府が主催する「世界青年の船」の参加者が、今月13日に香美市にお越しくださいました。参加者は日本を含む14ヶ国225名で、10チームに分かれた中の6チームが、香美市へ。午前中に、高知工科大学で歓迎式典を開催し、午後は、龍河洞、大宮小学校、香北中学校などを訪問し、交流しました。

私も市立図書館つながる一むで、ジェンダー平等についての議論に加わりましたが、若い外国の皆さんから、多くの刺激を受けました。

来年度、高知空港に国際線新ターミナルが完成予定でもあり、香美市として、外国人居住者や、外国人観光客にもしっかり対応できるよう、取り組んでまいります。

次に、「5つの基本政策と4つの横断的な政策に基づく香美市づくり」についてです。

最初に、基本政策の1つ目、経済の活性化についてであります。

コロナ禍で沈んでいた経済も着実に回復しつつありますが、一方で、人手不足などの新たな課題も発生しております。

去年は、高知県で生まれた赤ちゃんの数が、全国で一番少ないということが報道されました。私は、子育て世代の県外流出による影響が大きいと考えており、地域経済の持続的発展のためには、いかに若者の雇用を作り、定着してもらえるかが重要だと考えています。

若者に話を聞くと、仕事がないから都会に出るんだという話なのですが、香美市に全く仕事がないという訳ではありません。低賃金もしくは、働きたい業種の少なさが理由です。

この課題の解決には、企業が低賃金な職場の生産性を上げること、もしくは魅力的な職場を作れる起業家もしくは企業を呼び込むことが必要です。

そのためには、新たに業を起す起業家が、香美市で起業したいというように、選ばれるまちにならなければなりません。私としましては、香美市のイメージを、チャレンジを応援する町と思ってもらえるべく、意識的に取り組んでおります。

例えば、新規就農者にとって、香美市で農業をすることが、夢を実現するためにもっとも良い場所だと思ってもらいたい。そこで JA と連携して園芸用ハウスの補助制度を充実させるなど、チャレンジャーを応援する体制と PR 方法について、検討を進めているところです。

また、来年度、施設の改修後に指定管理者を募集する奥物部ふるさと物産館では、チャレンジャーの思い描く理想の店づくりが実現できるような募集内容を検討しています。

具体的には、市がテーブルや椅子、食器などの什器をあらかじめ用意して、指定管理者に運営してもらうのではなく、応募するチャレンジャーが、ご自分のセンスで選定し、その費用については、予算上の限りはありますが、香美市が支払うというやり方です。このことにより、チャレンジャーにとっては、理想の店づくりを、ローリスクで実現できます。

また朝ドラ「あんぱん」放送により、多くの観光客が香美市を訪れてくれると思いますので、その観光客に対応したビジネスチャンスを、多くの事業者に活かして頂きたいとも思います。

今後とも、香美市で新たに事業をやってみたいというチャレンジャーを呼び込むべく、取り組んでまいります。

次に基本政策 2 つ目の健康長寿の香美市づくりです。

今年度、多くの委員の皆様のご協力で、第 4 期香美市健康増進計画・第 3 期香美市食育推進計画・第 2 期香美市自殺対策計画の策定に向けて策定委員会が開催されました。

改めまして、ご参加頂いた委員の皆様には感謝するとともに、この 5 年計画について、香美市民の健康づくりにつなげていくべく、努力してまいります。

朝ドラ「あんぱん」の関係では、やなせ先生が「93歳・現役漫画家。病気だらけをいっそ楽しむ50の長寿法」という本を出されています。そこで、やなせ先生の食事や健康法について、健康づくり婦人会や食生活改善推進協議会などと意見交換して、実際に作ってみるなど、話題性のある取り組みについて、検討してみたいと思っております。

次に基本政策3つ目の教育の充実です。

香美市の探究学習は、全国的にも注目され、大宮小学校や香北中学校は、多くの視察を受け入れていますし、また山田高校についても、複数の専門誌で取り上げられるなど、注目を浴びています。

日本の教育が、探究学習にシフトする理由は、IT技術の進歩が背景であると理解しております。チャットGPTなど、答えがある問いに対して、瞬時に答えられるコンピューターの進化により、暗記型の学習は意味を持たなくなり、答えのない問いに対応できる能力を身に付ける必要から、探究が言われたという理解です。

では、探究学習に必要な能力はというと、私は、興味と継続学習能力だと考えております。興味というのは、学ぶ者の意欲であり、人から強制されるものではありません。また継続学習能力というのは、学びの習慣であり、困難にぶつかった時にあきらめない心のことでもあります。

この興味というものは、人それぞれであり、偶然の出会いから生まれるものでもあります。たまたま見た本に感動した。修学旅行で行った場所に興味を持ったなどです。私としましては、興味を持つきっかけづくりを、あの手この手で子供たちに提供することが重要であると考えております。

香美市教育委員会は、「郷土を愛し、探究的に学び、未来を創る人づくり」を、第2期香美市教育振興基本計画の理念として掲げていますが、市長部局としても、しっかりと取り組みを応援させていただきます。

例えば、先に述べた「よってたかって生涯学習フォーラム」のように、探究人である香美市民が、発表し合う場を作り、そこで興味あることに会ってもらうこと。また学校に、色々な分野のエキスパートを呼ぶキャリアチャレンジデイや、バスに乗っての企業見学など、子供たちの興味を引き出す機会づくりに対して、積極的に予算化したいと思います。そして何より、コミュニティスクールを活かして、地域の課題に触れてもらう機会を作ることで、児童生徒の心に、探究活動のエンジンとなる、興味を呼び起こす出会いを、作り出したいと思っております。

次に、香美市の大きな課題である不登校対策についてです。春には落ち着いていた 20 日以上欠席した小中学生の割合も、昨年 12 月には、先生方の努力にも関わらず過去最高となり、厳しい状況が続いています。

ご家庭の問題も含めて、色々な課題が背景としてあることは承知していますが、もしかしたら学校が楽しくないから学校に行かないという生徒もいるのかもしれませんが。そうであるならば、是非減らして頂きたいと思っております。

私は、不登校の割合と、探究学習が進んでいるかどうかは、相関関係があるのではと思っていて、全ての児童生徒が、探究学習の学びを身につけ、1つの科目でも好きになれば、自ずと学校が楽しくなり、不登校率は減るのだと思っております。もちろん、厳しいご家庭の事情が背景の不登校については、簡単ではないことは承知しており、市として、学びを経済的に支援していくことも、継続してまいります。

今後とも市長部局として、不登校対策ともなる探究学習について、一緒になって取り組んでまいります。

次に、山田高校への香美市内中学生の進学率が低いという課題についてです。令和 5 年度の山田高校への香美市内中学校からの進学率は、26%であり、令和 6 年度はさらに下がる見込みとのことです。山田高校は、高知工科大学とつながる香美学園都市構想の要であり、私としましては、今からテコ入れしなければ、1 学年 5 クラス体制からのクラス減、学科廃止もありうるかと心配している所です。こうなると、教員の配置も減ることが予想され、マイナスのスパイラルに陥ってしまいます。

高知県は、中山間地域再興ビジョンを掲げ、地元高校進学率について、令和 5 年度入学 31.3% に対し、今後 50%にする目標を掲げました。山田高校につきましても、近年は 30%前後ですが、早期に 50%になるよう取り組んでまいります。

次に、基本政策 4 つ目の市民を守る災害対策についてです。

1 月開会会議にも述べさせて頂きましたが、改めまして、本年 1 月 1 日に発生しました能登半島地震におきまして、お亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りするとともに現在も避難生活をされている方々に対しまして、心よりのお見舞いを申し上げます。

香美市におきましても、復旧のお手伝いをということで、5 名の職員が支援に向かいました。

今月加賀市で活動してくれた保健師の並川さん、福本さん。輪島市で活動してくれた税務収納課の福田さん、門脇さん。また来月には防災対策課から川島さんが行ってくれます。手を上げてくれた職員を誇りに思うと同時に、感謝しております。今後、現地で感じたことなどを聞きとって、香美市の防災力強化のために、生かしていきたいと思います。

さて来年度予算でも、住宅の耐震化については、重点的に取り組む他、先月の開会会議でもお話ししました通り、地震発生時にケガをしないための家具の固定について、積極的に取り組みたいと思っています。

家具の固定については、補助制度がありますが、利用が低迷している状況です。そこで意識を変えてもらうべく、高知県が保有する起震車をお借りし、3月19日に、防災倉庫前で起震車体験を実施する予定です。

まずは隼よりはじめよということで、まずは香美市職員を中心に実施します。そして、来年度には、香美市民向けに実施できればと考えております。その際には、議会にもご案内させて頂きしますので、是非ともお越し頂き、身近な方に家具の固定について啓発して頂ければと思います。

最後に基本政策5つ目のインフラの充実と有効活用です。

令和7年の朝ドラ「あんぱん」放送を前にして、できるだけ安全に香美市に来て頂けるよう、道路のメンテナンス工事につきましては、県の中央東土木事務所とも連携して、予算を計上させて頂いております。

また香美市が管理する市道橋梁357橋について、橋梁長寿命化修繕計画に基づき、優先される12橋について補修をいたします。

今後とも道路・橋梁について、安全に通行ができるよう、取り組んでまいります。

次に都市計画についてです。昨年10月の高知広域都市計画協議会にて、地区計画策定指針の見直しが行われ、市街化調整区域において開発規制の緩和がなされました。

土地の所有者の意向やその地区での土地需要が伴うので、事業者が思い描くとおりにできるかわかりませんが、片地小学校の生徒減対策など本市の課題を解決すべく、取り組んでまいります。

続いて、4つの横断的な政策についてです。

1つ目は、親しまれ信頼される行政窓口への継続的な改善です。

市長就任以来、香美市役所における窓口対応については、時々お褒めのお言葉を頂くことがあり、嬉しく思っております。

それぞれの職員が工夫して、住民目線に立った対応をしてくれているお陰と、手前みそながら、職員に対しまして感謝しております。

また朝ドラ「あんぱん」について、市民の皆様から色々なお声もかけて頂くようになりました。私としましては、香美市民と一緒に、やなせブームを巻き起こし、市民同士の日常会話でも、あんぱんについて語られるような、ワクワクした雰囲気づくりに努めたいと思います。

そこで、香美市役所本庁、香北支所、物部支所のロビーに、朝ドラコーナーを作るべく準備を進めています。

本庁ロビーにある市役所開庁以来、長年親しまれてきた、中田浩嗣（ひろつぐ）さんから寄贈頂いた「S A N Z U I」という石の展示物は、別の場所への移動を考えています。

広くなったスペースで、放送開始までの機運を盛り上げるべく、コーナーを設けたいと思います。

また1月22日からは、「やなせたかし先生のふるさと「愛と勇気の物語のまち」香美市 連続テレビ小説「あんぱん」の放送決定」という懸垂幕、横断幕を、本庁、保健福祉センター香北、奥物部ふれあいプラザに設置しております。

市民から、親しまれ信頼され、そして一緒になってあんぱんを盛り上げるべく、取り組んでまいります。

2つ目は、中山間地域対策の充実・強化です。

先ほども述べました通り、高知県において、高知県中山間地域再興ビジョンが策定されまし

た。香美市としまして、県の事業を有効活用し、取り組みを加速化させていきたいと考えております。

また団塊の世代が、75歳以上の後期高齢者となる「2025年問題」を来年に控え、集落を維持していく取り組みに対して、積極的に取り組みます。

例えば、昨年実証実験を行ったラジコン草刈機を導入するなどして、少しでも集落の日常的な作業を軽くできないかなど、具体的な策を実施すべく検討してまいります。

3つ目は、こども施策の充実と女性活躍の場の拡大です。

朝ドラ「あんぱん」の放送決定を受けて、アンパンマンミュージアム前広場のアンパンマン遊具を全面入れ替えすることとしました。また、館内展示についても、やなせうさぎのフィギュアを設置するほか、地下のジオラマも新規キャラクターを追加するなど改修いたします。

今後も、やなせたかし先生のふるさととして、こどもの遊び場の充実など、環境整備に取り組めます。

最後に4つ目の文化芸術とスポーツの振興です。

朝ドラ「あんぱん」の放送は、やなせたかし先生を知ってもらう上で、最高のチャンスであり、これまでもお話をさせて頂いた、やなせ先生を顕彰する施設について、来年度の早い段階で議論をまとめたいと思っています。

特に、やなせ先生の詩人や作詞家でもあったという、漫画以外の芸術家としての側面について、しっかりとご紹介したいと思っています。

このことについては、デジタル技術を活用した展示が有効ではないかと感じており、財団ともしっかりと話をし、朝ドラ放送終了後も、多くの方々がやなせ先生を慕って香美市に来て頂けるよう、新たな施設の整備を目指して検討を進めてまいります。

以上、5つの基本政策と4つの横断的な政策についてご説明させて頂きました。